



こんにちは♪

民主 苦小牧号外
2026年
5.17
No.1140



日本共産党市議会議員
小野寺ゆきえです!

9条改悪反対の大きな世論を!!

いよいよ17日は『青空フリーマーケット』です。見山町の共産党事務所の駐車場で開催します。事務所はバイパス沿いで、フードDや苦小牧信金の並びです。駐車場を使うので、車でお越しの方は、申し訳ありませんが勤医協病院の駐車場に止めてください。バスでお越しの方は、「苦信西支店前」で降りると近いですよ。

ところで、私は『憲法9条改悪に反対する請願署名』を持ち、訪問活動に取り組んでいます。3日は憲法記念日ということもあり、国民が憲法を意識する時期です。私は、平和を守り、戦争を止める力を持つ日本国憲法を何としても守りたいと思っています。今年4月に、高市首相は「次期自民党大会（来年3月頃の予定）までに、改憲発議の目途を付ける」と発言したこともあり、私は強い危機感を持っています。

特に高市首相が狙っているのは、「戦争放棄」を謳った

憲法9条です。自民党は「9条に自衛隊を書き加えるだけ」「自衛隊を書き加えても何も変わらない」などと説明していますが全く違います。自民党の『改憲草案』は、9条の2項「陸海空軍を保持しない」を削除して、「内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する」に書き換えるというものです。そして「戦争放棄」という言葉は残りますが、「自衛権の発動を妨げない」とあります。

たとえば、アメリカが国際法違反のイランへの攻撃を始め、日本の米軍基地からも出撃しています。イラン側は、「日本の米軍基地も反撃対象だ」と表明しました。それを理由に、首相が「日本を守るためだ」と言えば、アメリカと一緒に、自衛隊（国防軍）がイランを攻撃できるということです。まさしく、戦争の始まりです。

スペインやイタリア、フランスなどは、イラン攻撃のための米軍基地の使用を禁止しました。禁止することで無法な戦争に加担せず、自分の国が反撃される危険も回避して国民を守っているのです。日本政府も在日米軍基地の使用禁止をすべきでした。それが、「戦争放棄」を誓った日本政府のあるべき姿ではないでしょうか。

「戦争する国づくり」に邁進する高市首相を止める力は国民世論です。だから、私はたくさんの署名を集めたいと思います。今、後援会員のなかに、署名行動が広がっています。みなさんもぜひご協力ください。